

# 令和2年度第11回熊本県環境影響評価審査会

## 議事概要（書面審議）

### 1 日時

令和3年（2021年）1月25日（月）から令和3年（2021年）3月15日（月）

### 2 書面審議者

熊本県環境影響評価審査会委員

### 3 事業者等

株式会社エルゴジャパンエナジー、一般財団法人 日本気象協会

### 4 議題

「（仮称）球磨村風力発電事業環境影響評価方法書」について

### 5 議事概要

主な意見等の概要は以下のとおり。

- ・機材輸送時や風力発電機稼働時等の騒音をはじめとする大気環境に係る累積的な影響を的確に予測・評価するため、他事業者と積極的に情報共有を図ってほしい。
- ・対象事業実施区域及びその周辺では、水道用水として地下水が利用されており、湧水地も多数見受けられることから、河川だけでなく、湧水地も水質調査の対象とすべきではないか。
- ・佐敷川の流域斜面にはツクシムレスズメの自生地が点在しているため、道路拡幅工事等を行う場合には、十分な調査を行うとともに適切な対応が必要となる。
- ・本事業に係る風力発電機設置予定箇所の周辺には植生自然度9に分類される森林が残っている。当該森林の多くは二次林と考えられるが、一部モミ群落も残存していることから、事業実施にあたっては、これらの森林を滅失させることのないよう配慮してほしい。
- ・大規模な風力発電機はそれ自体が風景の主対象となりうる。本事業により17基もの風力発電機が設置されることとなれば、スカイラインの著しい分断が懸念されることから、自然景観に多大な影響を与えることがないよう十分配慮してほしい。

- ・対象事業実施区域及びその周辺には、地質的な要因等により、土砂災害警戒区域や山地災害警戒区域等が多数設定されている他、令和2年7月豪雨により、関係市町村の一つである芦北町周辺では大規模な土石流災害が発生している。土砂災害等を防止するために、今後どういったことを検討していく予定か、具体的に示してほしい。

※配付資料

(仮称) 球磨村風力発電事業環境影響評価方法書 説明資料